

平成24年度 事業報告書

社会福祉法人 岳南厚生会

特別養護老人ホーム 高原荘

(指定介護老人福祉施設)

(小規模生活単位型)

高原荘 短期入所事業

(指定短期入所生活介護事業)

老人デイサービスセンター やすらぎホーム

(指定通所介護事業)

ホームヘルパー派遣事業

(指定訪問介護事業)

在宅介護支援センター 高原荘

(在宅介護支援センター事業)

居宅介護支援事業 高原荘

(指定居宅介護支援事業)

小規模多機能型居宅介護事業所たかはら

(地域密着事業)

社会福祉法人岳南厚生会

事業報告書

平成 24 年度は、介護保険法が改正に伴う介護報酬改定により、厳しい運営が求められた。

定期巡回・随時対応型サービスや複合型サービスの創設などの医療と介護の連携強化やネットワークの推進等が図られた。他職種との共同によるケアマネジメント機能の強化やネットワークの推進がめざされ、その手法の一つとして「地域ケア会議」の設置・運営が明文化された。目指すべき方向性と活動方針等について協議し実施してきました。

法人の基本理念である「敬愛の念とお年寄りの気持ちを心から受け入れを大切にしていける精神」に則り、利用者ニーズにあった福祉サービスを提供することに専念すると共に、地域の方々との連携の基、ボランティア活動、実習生の受け入れまた予想される東海地震等の災害発生時における取り交わし等、防災面における安全確保を図り、「安全で安心して暮らせる」施設の強化に努めた。

特徴としては特に利用者は明るい環境の中でゆったりとした生活が確保され、理念を具体化し、その人らしい自立した生活の継続を援助することを目的に地域福祉に貢献した取り組みが評価されるよう心がけた。

介護現場における人材確保と処遇改善を一層進める観点から「介護職員処遇改善交付金」の申請も継続して行い「処遇改善手当」として全職員に支給した。

小規模多機能型居宅介護たかはらの運営、と地域密着事業に目を向け実践してきました。誰でもが住み慣れた地域で最期まで住み続けたいとの願いを実践する事ができ、益々高齢者が増えていく中、地域に出ている様々な問題が山積していることが見えてきた一年でした。今後も増加、重度化が見込まれる中、多様なニーズに応えるべく、24 年度施設整備でグループホームの施設整備を行った。

在宅介護支援センター、通所介護事業、短期入所事業、居宅介護支援事業、小規模多機能型居宅介護たかはらのサービス提供においても利用者に喜んでいただけるよう努力した。内部研修を積極的に行い、職員の新しい介護のあり方について、意識改革に意をそそぎ施設内の処遇、サービス提供等、当初の計画を遂行できた。

1. 規模

(1)	敷地面積	14,698.49 m ² (高原荘)
	〃	1,377.26 m ² (小規模たかはら)
(2)	建物延べ面積	1階 1,592.11 m ² (高原荘)
		2階 2,481.45 m ²
		3階 522.64 m ²
		計 4,596.20 m ²
	木造かわらぶき平家建	156.92 m ² (小規模たかはら)
	木造かわらぶき平家建	231.72 m ² (グループホーム)

2. 概要

(1)	経営主体	社会福祉法人 岳南厚生会
(2)	所在地	静岡県富士宮市貫戸 103-2
(3)	〃	静岡県富士宮市小泉寺ノ後 1625-25
(4)	法人役員	理事 10 名 監事 2 名

評議員 21 名

(4) 理念・沿革

社会福祉法人「岳南厚生会」は「敬愛の念」と「お年寄りの気持ちを心から受入れ、大切にしていく精神」をもって、利用者に接し、老人福祉の増進に寄与せんとする

〈沿革〉

昭和 61 年 10 月	社会福祉法人 岳南厚生会設立認可
昭和 62 年 4 月	特別養護老人ホーム高原荘 (50 床) 開設
昭和 62 年 8 月	ショートステイ事業開始
昭和 62 年 10 月	サービスセンターやすらぎホーム (25 名) 開設
平成 3 年 7 月	ホームヘルパー派遣事業 開始
平成 6 年 4 月	施設入浴サービス事業 開始
平成 7 年 4 月	在宅介護支援センター高原荘 開設
平成 10 年 4 月	ショートステイ専用居室 (20 床) 開設
平成 12 年 4 月	居宅介護支援事業所 開設
平成 15 年 8 月	新型特養ユニットケア (30 床) 開設
平成 24 年 4 月	小規模多機能型居宅介護事業所たかはら 開設

(5) 施設の種類の種類、定員

- ①特別養護老人ホーム 高原荘 (指定介護老人福祉施設)
 短期入所生活介護 高原荘 (指定短期入所生活介護事業) 第 2 種社会福祉事業
1. 種 別 第 1 種社会福祉事業
2. 入所定員 (従来型) 50 名 (小規模生活単位型) 30 名
 (短期入所) 20 名

3. 職員構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

施設長	1	副施設長	1	事務員	3 (1)
介護支援専門員	2	生活相談員	2	看護師	4 (3)
管理栄養士	1	介護職員	36 (10)	介助員	(3)
栄養士	(1)				
調理員	3 (5)	機能訓練指導員	(1)	医師 (嘱託医)	(1)
合計	66 名 (14)	() は非常勤		嘱託医含まず	

②居宅介護支援事業 高原荘 (指定居宅介護支援事業)

1. 種別 公益を目的とする事業

2. 職員構成 (平成 25 年 3 月 31 日)

介護支援専門員	4 (1)	兼務	1 (1)
合 計	4 名 (1)	() は非常勤	

③在宅介護支援センター 高原荘

1. 種 別 第2種社会福祉事業

2. 職員構成 (平成25年3月31日)

社会福祉士	1
合 計	1名

④ 老人デイサービスセンター やすらぎホーム (指定通所介護事業)

1. 種 別 第2種社会福祉事業

2. 利用人数 30名

3. 職員構成 (平成25年3月31日現在)

生活相談員 2	運 転 手 3 (3)	介 護 職 員 7 (3)
看 護 職 員 2 (1)	介 助 員 1 (1)	調 理 員 1 (1)
機能訓練指導員 1 (1)	合 計 15名 (8)	() は非常勤

⑤ ホームヘルパー派遣事業 (指定訪問介護事業)

1. 種 別 第2種社会福祉事業

2. 職員構成 (平成25年3月31日現在)

事業の休止		
合 計	0	() は非常勤

⑥ 小規模多機能型居宅介護事業所たかはら

1. 種 別 第2種社会福祉事業

2. 職員構成 (平成25年4月1日現在)

管理者 1	介護支援専門員 1	看護師 (1)	介護職員 1 (8)
合 計 12 (8) () は非常勤			

3. 法人財政の確立

法人における財政基盤の確立と財源の確保については、一般の方々の善意の寄付を受ける。

4. 平成24年度 理事会開催状況

回	開 催 日	議 案
1	H24. 5.24	第1号議案 平成23年度事業報告について 第2号議案 平成23年度決算報告について 第3号議案 監事監査報告について 第4号議案 職員給与の特例に関する規定の制定について 第5号議案 非常勤職員取扱の特例に関する規則の制定について 第6号議案 デイサービスセンターやすらぎホーム(指定通所介護事業所)運営規程の改正について 第7号議案 デイサービスセンターやすらぎホーム(指定介護予防通所介護事業所)

		<p>運営規程の改正について</p> <p>第 1 号報告 理事長の専決事項の報告について</p> <p>その他報告事項</p> <p>(1) 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）の状況について</p> <p>(2) 平成 23 年度介護職員処遇改善交付金の実績について</p>
2	H24.10.1	<p>第 1 号議案 グループホームたかはら新築工事に係る入札について</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度第 1 次収支補正予算について</p> <p>第 1 号報告 理事長の専決事項の報告について</p> <p>その他報告事項</p> <p>(1) グループホームたかはら建設事業の経緯と今後の予定について</p>
3	H24.11.5	<p>第 1 号議案 グループホームたかはら新築工事に係る入札結果について</p> <p>第 2 号議案 グループホームたかはら新築工事請負契約の締結について</p> <p>第 1 号報告 理事長の専決事項の報告について</p> <p>その他報告事項</p> <p>(1) グループホームたかはら建設事業の今後の予定について</p>
4	H24.12.3	<p>第 1 号議案 グループホームたかはら車椅子移動軽自動車の入札結果及び契約の締結について</p> <p>第 2 号議案 評議員の同意について</p> <p>第 1 号報告 理事長の専決事項の報告について</p>
5	H24.12.13	<p>第 1 号議案 理事長の互選について</p> <p>第 2 号議案 理事長の職務代理の指定について</p>
6	H25. 1.30	<p>報告協議事項 平成 24 年度静岡県による社会福祉法人の指導監査について</p> <p>第 1 号議案 評議員の同意について（追認）</p> <p>第 2 号議案 理事長の互選について（追認）</p> <p>第 3 号議案 理事長の職務代理について（追認）</p> <p>第 4 号議案 工事請負契約について（追認）</p> <p>第 5 号議案 理事長の互選について（追認）</p> <p>第 6 号議案 理事長の職務代理の指名について（追認）</p> <p>第 7 号議案 公募型指名競争入札指名の決定について（追認）</p> <p>第 8 号議案 公募型指名競争入札の立会人の選任について（追認）</p> <p>第 9 号議案 入札予定価格及び最低制限価格の設定について（追認）</p> <p>第 10 号議案 小規模多機能型居宅介護施設たかはら自動車購入に係る入札について（追認）</p> <p>第 11 号議案 小規模多機能型居宅介護施設たかはら家電機器購入、介護用機器購入、家具購入及び AED 購入に係る入札について（追認）</p> <p>第 12 号議案 定款の変更について（追認）</p> <p>第 13 号議案 小規模多機能型居宅介護施設たかはら運営規程の制定について（追認）</p> <p>第 14 号議案 ディサービスセンターやすらぎホーム（指定通所介護事業所）運営規程の変更について（追認）</p> <p>第 15 号議案 ディサービスセンターやすらぎホーム（指定介護予防通所介護事業所）運営規程の変更について（追認）</p> <p>第 16 号議案 グループホームたかはら新築工事に係る入札について（追認）</p> <p>第 17 号議案 平成 24 年度第 1 次収支補正予算について（追認）</p>

		<p>第 18 号議案 平成 24 年度第 2 次収支補正予算について</p> <p>第 1 号報告 理事長の専決事項の報告について（追認）</p> <p>第 2 号報告 理事長の専決事項の報告について</p> <p>その他報告事項</p> <p>（1） 平成 23 年度静岡県による実地指導の結果について（追認）</p> <p>（2） グループホームたかはら建設事業の経緯と今後の予定について（追認）</p> <p>（3） グループホームたかはら家電機器購入、家具購入、介護用機器購入、AED 購入に係る入札について</p>
7	H25. 2.21	<p>報告協議事項 平成 24 年度静岡県による社会福祉法人指導監査について</p> <p>第 1 号議案 特別養護老人ホーム高原荘給湯ボイラー取替え工事の入札について</p> <p>第 1 号報告 グループホームたかはら家電機器、家具、介護用機器及び AED 購入に係る入札結果及び契約について</p> <p>第 2 号報告 グループホームたかはら事務機器購入に係る入札について</p>
8	H25. 3. 7	<p>第 1 号議案 平成 24 年度静岡県による社会福祉法人の指導監査について</p> <p>第 2 号議案 定款の変更について</p> <p>第 3 号議案 特別養護老人ホーム高原荘給湯ボイラー取替え工事の入札結果及び契約の締結について</p> <p>第 1 号報告 グループホームたかはら事務機器購入に係る入札結果及び契約の締結について</p>
9	H25. 3.26	<p>第 1 号議案 定款（目的）の変更議案の更正について</p> <p>第 2 号議案 定款（資産の区分等）の変更について</p>
10	H25.3.26	<p>第 1 号報告 平成 24 年度静岡県による社会福祉法人指導監査について</p> <p>第 2 号報告 高原訪問介護事業所の休止について</p> <p>第 3 号報告 理事長の先決事項の報告</p> <p>第 1 号議案 認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護事業所たかはら運営規程の制定について</p> <p>第 2 号議案 平成 24 年度第 3 次収支補正予算について</p> <p>第 3 号議案 平成 25 年度事業計画について</p> <p>第 4 号議案 平成 25 年度収支当初予算について</p> <p>第 5 号議案 就業規則の改正について</p> <p>第 6 号議案 嘱託医委託契約について</p> <p>第 7 号議案 洗濯業務委託契約について</p> <p>その他の報告 次期理事会の開催予定について</p>

5. 平成 24 年度評議委員会開催は 9 回行いました。

6. その他

(1) 静岡県厚生部福祉子ども局による指導監査
平成 24 年 12 月 7 日 監査（法人・施設）

(2) 「特別監査」調査
平成 24 年 12 月 25 日 調査

特別養護老人ホーム 高原荘

(指定介護老人ホーム)

事業報告書

平成 24 年度 特別養護老人ホーム高原荘は、入居者様は明るい環境の中でゆったりとした生活が確保され、理念を具体化し、その人らしい自立した生活の継続を援助することを目的にし地域福祉に貢献している取り組みがされた。「身体ケア」モデルから、「身体ケア+認知症ケア」モデルへの取り組みとしての小規模生活単位型ケアへの取り組みも定着し、ご利用者に対し、一方的なお世話から高齢者自身の生きる力を出来る限り引き出していけるユニットケアの事業と成った。

感染予防策も継続的に行われたが、ノロウイルス感染が発生してしまったが最小限に押さえる徹底した拡大防止策を行いくい止めることができた。あらためて施設での感染予防策への取り組みは、普段からの取り組みの必要性を感じた。

1. 研修状況報告

施設長

福祉 3 団体合同研修・特別講演会

「高齢者の見守り向上のために」パネルディスカッション

安全運転管理者等に対する法定講習

介護認定審査会

介護保険サービス事業者説明会

介護力向上研修会

楓の丘 竣工式

木下朝子氏の瑞寶雙光章受章を祝う会

クレーム対応研修

国民医療を守るための静岡県総決起大会

しずおか介護フェア 2012

静岡県健康福祉推進ネットワーク会議

静岡県健康福祉大会における知事表彰式

静岡県社会福祉施設経営者協議会 事務研修会

富士旭出学園創立 40 周年記念式典

富士圏域社会福祉施設長会

富士地域リハビリテーション推進事業連絡協議会

ふじのくに安心地域支えあい体制づくり県民会議

老人ホーム入所判定委員会

副施設長

立石法律事務所 研修セミナー

事務次長

「しずおか介護フェア 2012」

「しずおか介護フェア 2012」ブース出展に係る意見交換会

立石法律事務所 研修セミナー
福祉の仕事就職フェア in しずおか (夏)
〃 (秋)
ミニ就職相談会
リスクマネジメント研修会

指導課長

異業種講師研修
静岡県合同入職式
指導的職員研修 II
社会福祉法人 人事・労務管理研修会
社会福祉法人監事監査研修会
接遇マナー講座 (指導者養成編)
東京ビックサイト 展示会
認知症介護実践研修 全5回
〃 実習報告会
認知症対応型サービス事業管理者研修
横浜パラマウントベッド 展示会

ケアマネ・支援センター

「しずおか介護フェア2012」
大宮東地区社会福祉協議会 総会
介護保険サービス提供事業者説明会
クレーム対応研修
権利擁護・成年後見セミナー (応用編)
〃 (基礎編)
高齢者虐待防止シンポジウム
三世代交流会計画 検討会
三世代ふれあい交流会
静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会 総会・現任職員研修
社協 黒田支部 ふれあい交流会
〃 ふれあい交流会検討会
〃 役員会
社協 富士見支部 地域ふれあい交流会
集団指導
主任介護支援専門員打ち合わせ会
〃 連絡会
障害者支援者スキルアップ研修会
神経難病ネットワーク会議
センター方式地域型基礎研修
センター方式フォローアップ研修

相談員・介護支援専門員スキルアップ研修
地域包括ケアシンポジウム
地域包括支援センター等職員研修
認定調査員現任研修
福祉3団体合同研修 特別講演会
リスクマネジメント講座③

生活相談員

「介護力向上研修～研究発表 Again～」研修会
クレーム対応研修
県老協 高齢者福祉研究大会
施設部会における相談員連絡会
実習指導者懇談会
集団指導
相談員のための支援力アップ講座
相談員連絡会
中堅職員研修 III
福祉サービス苦情解決研修会
富士宮東高福祉科 体験発表会

看護師

看護師研修
結核医療従事者研修会

厨房

衛生・栄養管理講習会
栄養研修会
栄養士・調理員研修（高齢者編）
県給食協会富士宮支部 給食研修会「嚥下について」
// 総会・衛生講習会
// 調理研修会
新任職員研修 I
富士・富士宮・芝川地区特養栄養士会

デイサービス

介護記録の書き方講座
介護職スキルアップ研修
介護職のための腰痛予防・改善&リラクゼーション実技講座
介護保険サービス提供事業者説明会
傾聴講座
指導的職員研修 I

集団指導
東京ビックサイト 展示会

寮母

介護職スキルアップ研修
介護力向上研修
傾聴講座
コミュニケーション技法講座（基礎編）
施設間交流研修
新人職員指導術講座
身体拘束廃止実践講座
新任職員研修 I
接客マナー研修
センター方式地域型基礎研修
相談員・介護支援専門員スキルアップ研修
中堅職員研修 I
認知症の人のためのケアマネジメント講座

監事

社会福祉法人監事監査研修会

事務

新会計基準経理研修会
社会福祉法人決算実務講座（新会計基準）

小規模

センター方式地域型基礎研修

2. 会議の実施状況

会議名	回数	参加職種
職員会議	月1回	全職員
サービス担当者会議	随時	直接処遇担当者・担当職員
ケアワーカー会議	随時	ケアワーカー
献立会議	月2回	全職員・入所者
利用者会議	月1回	各職種主任・利用者
リーダー会議	月1～2回	各職種リーダー

3. 実習生の状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

実習受け入れ先	実習期間	日 数	人 数
県立富士宮東高校 (3 年生)	5/ 9 ~ 5/25	12 日間	3 名
〃	7/17 ~ 7/31	10 日間	3 名
〃 (2 年生)	10/ 2 ~ 10/19	12 日間	2 名
県立短期大学 (2 年生)	5/25 ~ 6/15	17 日間	2 名
〃	10/ 5 ~ 10/26	17 日間	2 名
〃 (1 年生)	11/ 9 ~ 11/23	15 日間	2 名
静岡福祉大学 (3 年生)	8/20 ~ 9/21	24 日間	2 名
〃 (2 年生)	8/20 ~ 9/14	19 日間	1 名
サマーショートボランティア	8/ 6 ~ 8/10	5 日間	1 名
新規採用職員研修	9/13	1 日間	24 名
(三幸福祉カレッジ)	7/ 4 ~ 7/ 6	3 日間	1 名
〃	7/ 9 ~ 7/11	3 日間	1 名
〃	8/ 6 ~ 8/10	5 日間	1 名
〃	9/10 ~ 9/12	3 日間	1 名
〃	10/16 ~ 10/18	3 日間	1 名
〃	2/21 ~ 2/22	2 日間	1 名
〃	3/18 ~ 3/20	3 日間	1 名
〃	3/27	1 日間	1 名
FUJI アカデミー	5/14 ~ 5/16	3 日間	1 名
〃	5/21 ~ 5/23	3 日間	1 名
〃	10/ 6	1 日間	1 名
〃	2/14 ・ 2/18	2 日間	1 名
〃	2/14 ・ 2/22	2 日間	1 名
福祉体験 (富士中)	11/ 6 ~ 11/ 8	3 日間	2 名

4. 施設慰問状況

日 時	受け入れ団体名	内 容
平成 24 年 4 月 19 日	有親会	
5 月 22 日	天間謡泉会	三味線・民謡
7 月 30 日	山本太鼓	太鼓
〃		大道芸
9 月 14 日	藤本会	三味線
9 月 15 日	大衆演芸会	
9 月 17 日	ラカクラブ	フラダンス
10 月 18 日	ピアノ (池田様)	ピアノ
11 月 15 日	ひばりの会	民謡
12 月 14 日	仏画 (長谷川様)	仏画

5. 年間行事

月 日	行 事 名	内 容
平成24年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・開荘記念日 ・桜花見 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事会で祝った。 ・岩本山公園にて春の陽気の中、お年寄りと共に桜を楽しんだ。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・藤の花見 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を感じていただき、春を満喫していただく。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・3B体操大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士川町体育館にて、3B体操を通して地域の方々と親交を図った。
7月・8月	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕祭り ・流しそうめん ・夏祭り ・合同慰霊祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・想いを七夕に託し短冊を飾り祝った。 ・夏の暑さのひとつきを忘れ、涼感を味わっていただいた。 ・模擬店にて昼食をとり、太鼓や大道芸の慰問にて祝った。 ・物故者を偲び、祈りを込めて供養を行った。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練 ・衆議院選挙不在者投票 ・敬老会祝賀会 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を1日体験した。 ・地域交流室にて不在者投票を行った。 ・長寿を祝い、家族と共にお祝いをした。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で行える簡単なスポーツを楽しんだ。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練 ・紅葉狩り ・福祉作品展 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設防災の日。 ・紅葉の名所をバスハイクし秋を堪能した。 ・作る喜び、日頃の活動の評価の場となった。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りと共にケーキを作りクリスマスを楽しんだ。 ・つくたてのお餅を適当な大きさに取り分け、皆さんで頂いた。
1月・2月	<ul style="list-style-type: none"> ・七草がゆ ・どんど焼き ・節分（豆まき） ・バレンタインデー 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身で粥を炊き昔を懐かしみながら、一年間の無病を願った。 ・団子を作り、どんど焼きに参加し一年の無病息災を祈った。 ・浅間神社の神主を招き、祓いをしていただいた。 ・手作りチョコレートを作った。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんで女の子の祭りを、昔を懐かしみながら祝った。

6. 入所者クラブ状況 クラブ活動を通して、在宅利用者と施設入所者の交流を図った。

クラブ名	活動日	指導者	内容
書道	毎月第2、第4金曜日	職員	お手本で（漢字・かな）を練習する。 福祉作品展に出展する。
民謡合唱	毎週水・土曜日	職員	民謡や歌を通じて、生き甲斐や入所者相互の交流を図る。誕生会や行事等で発表する。
絵	毎月第2日曜日	職員	風景・動物・自画像を描く
さわやか教室	毎月第2、第4火曜日	3B体操講師	3B体操指導
レクリエーション	毎月第2、第4金曜日	木村氏	楽器を用いた音楽指導

7. ボランティア状況

各種ボランティア団体が定期的に、来荘していただけるようになった。内容としては、荘内の清掃、包布交換、利用者との話し相手、行事の時などはお手伝いをお願いした。

10月 環境整備；JA婦人部

11月 環境整備；富士宮市シルバー人材センター

8. 入・退所の状況(平成24年度)

(入所者)

(平成25年3月31日現在)

No	氏名	入所日	出身地	入所前
1		平成24年4月16日	富士宮市	富士ケアセンター
2		4月18日	富士市	静岡富士病院
3		5月16日	富士宮市	ヒューマン
4		6月6日	富士宮市	自宅
5		8月6日	富士宮市	自宅
6		8月27日	富士市	ヒューマン
7		9月3日	富士宮市	自宅
8		9月10日	富士宮市	自宅
9		9月14日	富士宮市	自宅
10		9月25日	富士宮市	自宅
11		11月27日	富士宮市	自宅
12		平成25年1月23日	富士宮市	自宅
13		2月18日	富士宮市	自宅
14		2月25日	富士宮市	新富士ケアセンター

(退所者)

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

No	氏名	退所日	出身地	退所理由
1		平成 24 年 4 月 6 日	富士宮市	入院加療の為退所
2		4 月 13 日	富士宮市	入院加療の為退所
3		5 月 6 日	富士宮市	肺炎の為死亡
4		5 月 30 日	富士宮市	入院加療の為退所
5		7 月 29 日	富士市	老衰の為死亡
6		8 月 15 日	富士宮市	腎不全の為死亡
7		8 月 27 日	富士宮市	脊髄変性症の為死亡
8		9 月 5 日	富士宮市	入院加療の為退所
9		9 月 9 日	富士宮市	誤嚥性肺炎の為死亡
10		9 月 19 日	富士宮市	呼吸不全の為死亡
11		11 月 16 日	富士宮市	肺炎の為死亡
12		平成 25 年 1 月 17 日	富士宮市	老衰の為死亡
13		2 月 2 日	富士宮市	急性心筋梗塞の為死亡
14		2 月 12 日	富士宮市	入院加療の為退所

9. 実施機関別入所者状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

	富士宮市	富士市	調布市	合計
男	14	1	0	15
女	57	7	1	65
合計	71	8	1	80

10. 入浴時間

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

区分	個浴	機械浴	清拭	ユニット
回数	週 2 回	毎日	随時	週 2 回～
男	随時	随時		
女	随時	随時		随時

11. 入所者年齢構成表

平成 25 年 3 月 31 日現在

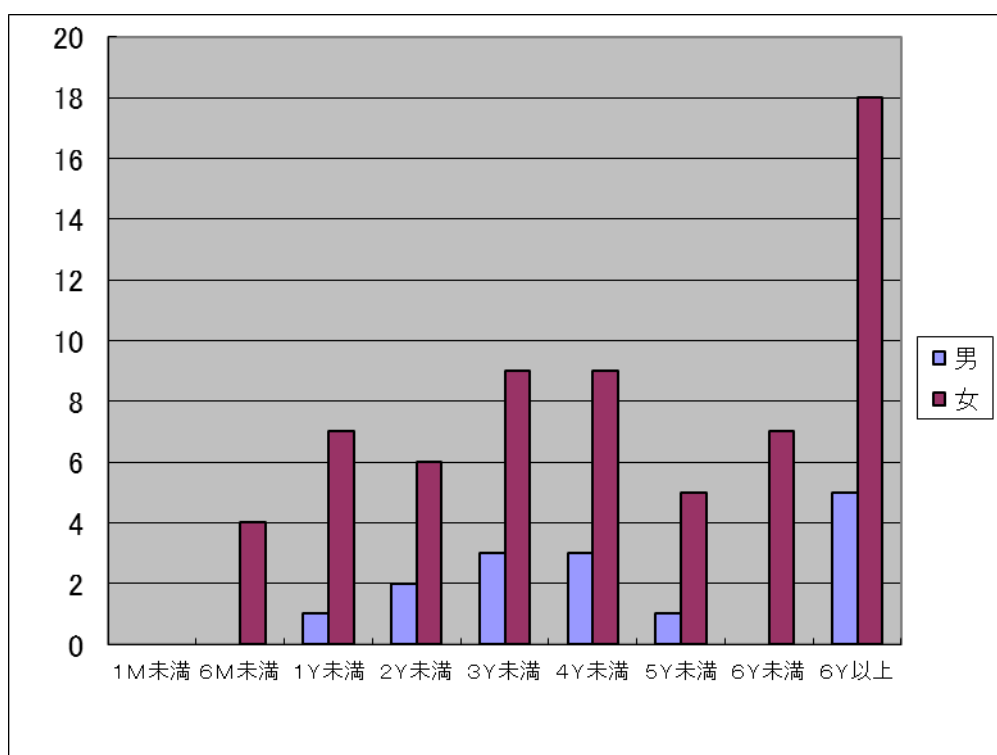
年 齢 階 級 別								
区分	64 歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 歳以上	計
男	2	1	2	2	3	2	3	15
女	0	3	2	7	11	17	25	65
合 計	2	4	4	9	14	19	28	80

備 考				総平均年齢 85.0歳
区分	最高年齢	最低年齢	平均年齢	
男	93歳	56歳	79.1歳	
女	104歳	67歳	86.4歳	

12. 在所 期間

平成 25 年 3 月 31 日現在

区分	1M未満	6M未満	1Y未満	2Y未満	3Y未満	4Y未満	5Y未満	6Y未満	6Y以上	合計
男	0	0	1	2	3	3	1	0	5	15
女	0	4	7	6	9	9	5	7	18	65
合計	0	4	8	8	12	12	6	7	23	80



13..過去一年間の退所者について、在所期間別の主たる退所理由

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

項 目	1 年未満	1～3	3～5	5～10	10 年以上	計
家庭復帰						0
他の社会福祉施設へ						0
入院加療	1	1	1	2		5
老人保険施設へ入所						0
死 亡	2	1	3	2	1	9
その他						0
計	3	2	4	4	1	14

14. 入所前の状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

項目	女	男	計
自宅	9		9
他の老人福祉施設			0
医療機関	1		1
老人保険施設	3	1	4
その他			0
計	13	1	14

15. 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の移動		当月該 延べ人数	備考
		入所	退所		
4月	80	2	2	82	
5月	80	1	2	81	
6月	79	1	0	80	
7月	80	0	1	80	
8月	79	2	2	81	
9月	79	4	3	83	
10月	80	0	0	80	
11月	80	1	1	81	
12月	80	0	0	80	
1月	80	1	1	81	
2月	80	2	2	82	
3月	80	0	0	80	

16. 居室の状況

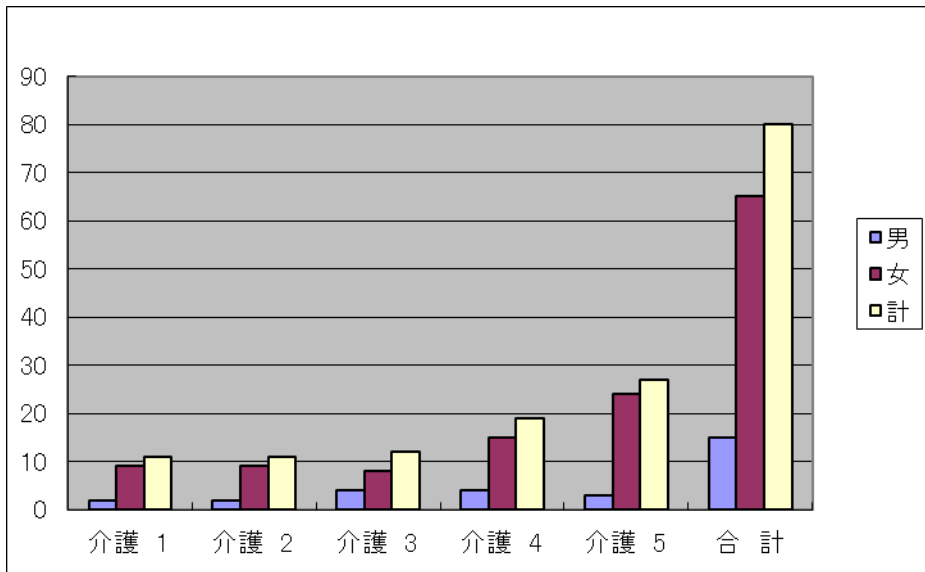
(平成 25 年 3 月 31 日現在)

区 分	2 人部屋	4 人部屋	個 室	計
定 員	2 × 7 14 人	4 × 9 36 人	30 人	80 人

17. 要介護度別の状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

区分	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	2	2	4	4	3	15
女	9	9	8	15	24	65
計	11	11	12	19	27	80



短期入所事業

(指定短期入所生活介護)

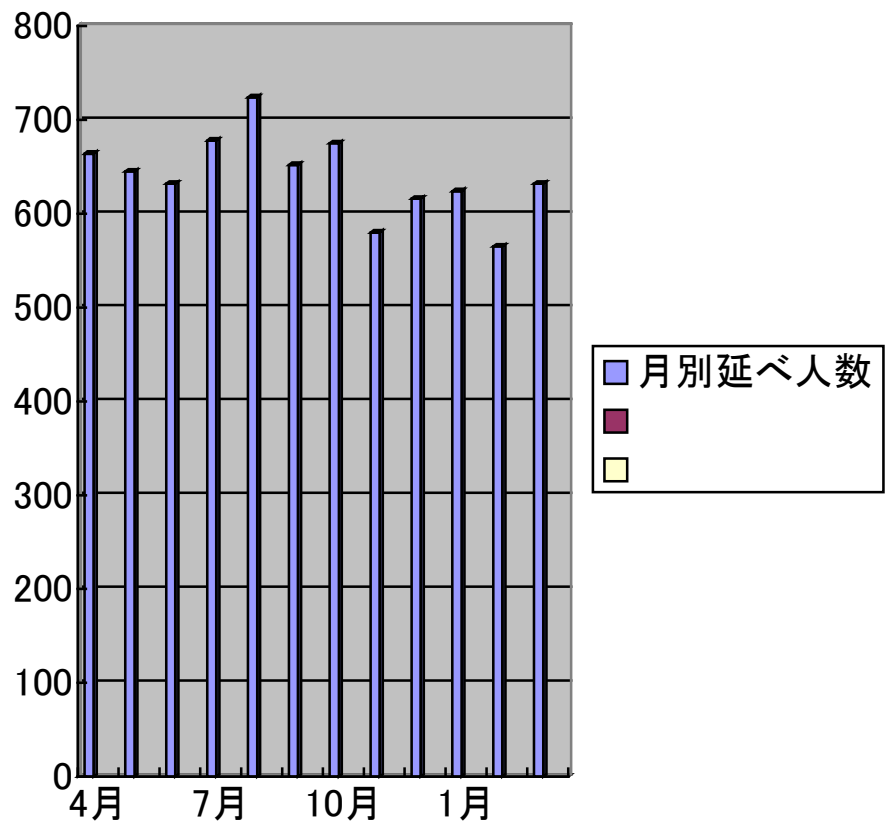
実績報告書

今年度の短期入所事業は、所属長の変更があったものの、増加したニーズを的確に捉えサービスの質の向上に努めた。

この1年間は、認知症の進行した方はさることながら医療・介護度の高い利用者が多く、心疾患や癌呼吸器系疾患を抱える利用者の利用率が高かった。

当事業所の取り組みは、利用者視点に立ち利用者本位の介護を目指した。また個別ケアに向けての情報の収集や共有化にも努め撤退した。

利用月	計
平成 24年 4月	664
5月	645
6月	632
7月	678
8月	724
9月	652
10月	675
11月	580
12月	616
平成 25年 1月	624
2月	565
3月	632
合計	7,687



今後も医療・介護度の高い方、ニーズの多い方の利用がより一層増加していくものと考えられる。それに向け一層の知識の習得、援助技術を研磨していく。また他事業書・他部署にも情報を交互に共有し円滑な支援ができるよう相談援助技術の向上に努めていく。

老人デイサービスセンターやすらぎホーム

(指定通所介護事業)

事業報告書

利用者本位のサービス提供のため、明るく活気あふれ、利用者とそのご家族に信頼され、愛される施設運営を目標に取り組んだ。事業所数が年々増加し、まさに、競争社会であり、30人定員である処、1日平均 23.3人、年間利用率 77.6%の実績となった。

やすらぎホームは、備品等の入れ替えや設えで利用者様に快適にサービスを受けていただけるようにし寄り添うケアへと近づいた。

1. H24年度 月別利用状況

	利用者	内予防	前期利用率	今期利用率	良い曜日	低い曜日	備考
4月	611	51	86.6%	81.5%	(木)86.7%	(水)75.0%	取り消し 2名
5月	652	48	85.9%	80.5%	(金・土)84.2%	(月)73.3%	取り消し 4名
6月	650	43	86.2%	83.3%	(火)87.5%	(月)76.7%	取り消し 2名
7月	653	39	83.6%	83.7%	(火)87.3%	(月)80.0%	取り消し 2名 死亡 1名
8月	649	42	85.7%	80.1%	(土)86.6%	(水・金)75.3%	取り消し 1名
9月	634	42	87.2%	84.5%	(木)88.3%	(月)80.0%	取り消し 1名
10月	645	48	83.3%	79.6%	(水)83.3%	(月)73.3%	取り消し 4名
11月	591	37	76.9%	75.8%	(木)78.7%	(金)72.0%	取り消し 1名
12月	539	30	85.2%	71.9%	(土)77.3%	(金)55.8%	取り消し 2名
1月	502	29	77.5%	69.7%	(木)80.0%	(月)62.5%	取り消し 2名
2月	507	24	85.5%	70.4%	(木)78.3%	(金)65.0%	取り消し 4名 死亡 1名
3月	511	22	85.9%	65.5%	(土)72.7%	(金)56.7%	取り消し 2名 死亡 1名
	7,144	455	84.2%	77.6%			

2. 利用者登録数 (取消数 27 人・死亡数 3 人)

				登録 実人数	
(月)	29	(男) 7名	(女) 22名	(男) 7名	(女) 21名
(火)	23	4名	19名	3名	21名
(水)	27	4名	23名	1名	13名
(木)	26	5名	21名	1名	6名
(金)	23	4名	19名	2名	1名
(土)	28	5名	23名	0名	2名
合計	156名	29名	127名	14名	48名

3. ADL状況

	男	女	計
車椅子利用者	3	12	15名
杖歩行者	8	26	34名
自立歩行	3	10	13名

(62名)

4. 登録者の利用状況

登録者の利用状況						
1週間に1回	8名	要介護 1	19名	要支援 1	0名	
2回	30名	2	14名	2	5名	
3回	17名	3	13名			
4回	3名	4	5名			
5回	3名	5	6名			
6回	1名		0名			
	62名		57名		5名	

5. 利用者年齢構成

区分	性別	男	女	計		男	女
60歳		1	0	1	最高齢者	97歳	101歳
70歳		0	4	4	最低年齢	64歳	76歳
80歳		11	20	31	平均年齢	83.84歳	89.4歳
90歳		2	21	23			
100歳		0	3	3			
計		14	48	62	平均年齢	88.1歳	

6.

4月	入院 4名 ショート利用者延 58名	10月	入院・自宅療養 4名 ショート利用者延 77名
5月	取消 4名・入院 7名 ショート利用者延 61名	11月	入院・自宅療養 4名 ショート利用者延 83名
6月	ショート利用者延 62名	12月	ショート利用者延 79名
7月	ショート利用者延 53名	1月	入院・自宅療養 3名 ショート利用者延 68名
8月	死亡者 1名・入院 2名 ショート利用者延 55名	2月	入院 3名・死亡者 1名 ショート利用者延 78名
9月	入院・自宅療養 3名 ショート利用者延 71名	3月	死亡者 1名 入院・自宅療養 3名 ショート利用者延 62名

7. 行事实施状況

4月	かしわ餅づくり
5月	おやつ作り
6月	焼きそば作り・ピアノ慰問
7月	七夕お飾り作り
8月	流しそーめん
9月	敬老会（大衆演劇慰問）・防災訓練
10月	運動会・マジック慰問
11月	カラオケ慰問
12月	忘年会・よさこい慰問
1月	書き初め・福祉作品展
2月	おやつ作り（まゆ玉）・豆まき・お好み焼き作り
3月	感染症流行の為、おやつ作り・慰問中止

* 誕生日会は月行事として実施した。

誕生日カード（壁掛け）に使う記念写真の撮影を行い、カードに添付しプレゼントする。誕生日の記念品プレゼント。

季節感を大事にするため、食事にも季節の色を取り入れ、季節感を感じていただいた。

- * 制作
- * 月ごとに壁画を利用者様と制作した。
- * 母の日（カーネーション作り）
- * カレンダー作り
- * 福祉作品展、出展作品の制作
- * 午前中にて、身体をつかった体操を行った。

在宅介護支援センター事業報告

(地域型支援センター (ブランチ))

平成 24 年度は、富士宮市から下記事業の業務委託を受け、実施しました。

記

1. 介護予防教室業務
2. 家族介護教室業務 (法人委託)
3. 高齢者総合相談支援業務

1. 介護予防教室

地域における高齢者の、地域における自発的な介護予防への取り組みを支援するため、介護予防の趣旨と実技の普及を目的とする介護予防教室業務を実施しました。

今年度も各地区の老人クラブや寄り合い処に協力をお願いし、多くの高齢者にご参加いただきました。

	日 時	時 間	参加人数	開催地区	場 所
1	平成 24 年 5 月 17 日 (木) 「高齢者のケアについて」	10:00 ~11:00	14 名	やまもと 寄り合い処	山本第二 公民館
2	平成 24 年 6 月 14 日 (木) 「骨粗しょう症の予防」	13:30 ~15:00	11 名	寄り合い処 いな穂	舞々木 集会所
3	平成 24 年 6 月 15 日 (金) 「骨粗しょう症の予防」	9:30 ~11:00	18 名	貫戸老人クラ ブ	貫戸 区民館
4	平成 24 年 6 月 19 日 (火) 「栄養改善で低栄養の予防を」 「水分補給について」	9:30 ~11:00	28 名	星山寄り合い 処	星山 1 区 区民館
5	平成 24 年 7 月 10 日 (火) 「介護保険制度について」	13:30 ~15:00	20 名	瑞穂さくらの会	瑞穂区 公会堂
6	平成 24 年 7 月 16 日 (月) 「骨粗しょう症の予防」	13:00 ~14:30	21 名	咲花白一会	咲花 区民館
7	平成 24 年 8 月 22 日 (水) 「転倒予防体操」	9:30 ~11:00	29 名	山本親和会	山本第一 公民館
8	平成 24 年 8 月 27 日 (月) 「はじめていますか?介護予防」	9:30 ~11:00	37 名	寄り合い処 のぞみ	源道寺 区民館
9	平成 24 年 9 月 8 日 (土) 「認知症の予防」 「暮らしに役立つ折り紙」	10:00 ~11:30	11 名	石の宮 寄り合い処	山本三町内公 民館
10	平成 24 年 10 月 15 日 (月) 「はじめていますか?介護予防」	14:00 ~15:30	19 名	上高原万寿会	高原 1 区 区民館
11	平成 24 年 10 月 27 日 (土) 「骨粗しょう症の予防」	10:00 ~11:30	14 名	みんな笑顔の 寄り合い処	高原 1 区 区民館

12	平成 24 年 11 月 15 日 (木) 「骨粗しょうの予防」	9:30 ~11:00	8 名	大和クラブ	大和 公会堂
13	平成 24 年 11 月 20 日 (火) 「認知症の予防」	14:00 ~15:30	27 名	星山 寄り合い処	星山 1 区 区民館
14	平成 25 年 2 月 12 日 (火) 「介護保険制度について・認知症 予防」	10:00 ~11:30	35 名	富士見が丘老 人クラブ	富士見が丘集 会所
15	平成 25 年 2 月 16 日 (土) 「はじめていますか？ 介護予防」	10:00 ~11:30	27 名	黒田白寿会	黒田区民館
16	平成 25 年 2 月 19 日 (火) 「介護保険制度について」	14:00 ~15:30	27 名	阿幸地クラブ	阿幸地公会堂

2. 家族介護教室

家族において高齢者を介護する家族を支援するため、介護保険制度等の趣旨、利用方法の普及及び介護に係る技術等の普及を行うことを目的とする家族介護教室業務を実施しました。

	日時・内容	時 間	講 師	場 所	参加人数
1	平成 24 年 11 月 1 日 (木) 「一人で悩まないで ～ケアする人のケア～」	14:00～16:00	富士市男性介助者 自助グループ 「ほっと」 代表 竹村健二氏	高原荘地域 交流室	22 名
2	平成 24 年 11 月 8 日 (木) 「健康増進 吹き矢体験！」	14:00～16:00	朝霧高原診療所 吹き矢公認指導者 山本清美氏	高原荘地域 交流室	31 名
3	平成 24 年 11 月 15 日 (木) 「からだにやさしい 私が元気になる ～漢方の力～」	14:00～16:00	影山薬局 薬剤師 影山敏嵩氏	高原荘地域 交流室	19 名
4	平成 24 年 11 月 22 日 (木) 「認知症ケア ～自分らしく 生き抜くために～」	14:00 ~16:00	岳南厚生会 高原荘 施設長 斉藤文彦氏	高 原 荘 地域交流室	20 名
5	平成 24 年 11 月 29 日 (木) 「小規模多機能 居宅介護たかはら 見学会」	14:00～16:00	小規模多機能 居宅介護たかはら 川口貴久氏	高原荘地域 交流室	24 名

支援センター高原荘

居宅介護支援事業

事業報告書

介護保険制度により、介護支援専門員に求められる基本理念としての利用者の自立支援、介護を要する状態、高齢者の選択により、できる限り自立した日常生活が送れるよう必要なサービス内容や提供方法、家族の介護の軽減に応えるべく、個々の高齢者に見合った介護を適切かつ効果的に提供できるよう支援を行った。

また、介護支援専門員のレベルアップを図ることを目的とした研修会等に積極的に参加をし、資質の向上、育成に努めた。

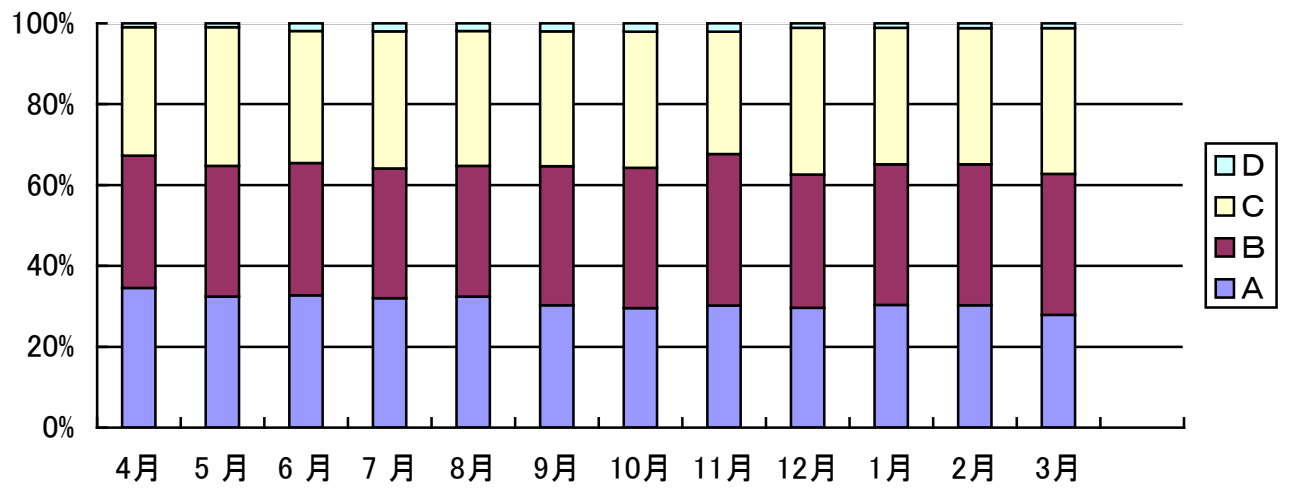
要介護別利用状況

平成24年度

月	要支援1	要支援2	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4	7	8	15	34	32	25	7	9	107
5	4	10	14	32	32	23	9	9	105
6	5	9	14	31	31	26	9	10	107
7	7	7	14	32	32	22	10	7	103
8	7	6	13	29	36	24	9	7	105
9	6	9	15	29	32	22	9	7	99
10	4	10	14	32	28	22	8	8	98
11	4	10	14	27	28	23	11	7	96
12	3	10	13	27	25	21	10	8	91
1	3	11	14	26	24	19	13	7	89
2	3	12	15	29	21	17	12	7	86
3	3	10	13	29	20	17	12	8	86
合計	56	112	168	357	341	261	119	94	1172

担当ケアマネ実績

ケアマネ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
A	37	34	35	33	34	30	29	29	27	27	26	24	365
B	35	34	35	33	34	34	34	36	30	31	30	30	396
C	34	36	35	35	35	33	33	29	33	30	29	31	393
D	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	18
計	107	105	107	103	105	99	98	96	91	89	86	86	1172



要介護度別年間請求分析
 平成 24 年度 データ収集 (介護)

小規模多機能型居宅介護たかはら

(小規模多機能型居宅介護事業)

事業報告

小規模多機能型居宅介護は、一人ひとりのお年寄りの願いに向き合い、寄り添う中から生み出されたもので、介護が必要になっても住み慣れた家に暮らし、家族や親しい人々とともに、安心した生活を送りたいという願いを実現した取り組みを行ってきました。

《基本理念》

- ・お年寄りの気持ちに向き合い、寄り添う

本人の思いや希望を受け止め、それを叶える方法を考えます。

そのため、単なるサービスの組み合わせを提供するではなく、柔軟にサービスの形を変化させます。

- ・24時間365日、切れ目なく暮らしを支える

小規模多機能型居宅介護のサービスの基本は日中の通いですが、本人の状態や家族の状況にあわせて、継続した支援を提供できる体制を整えます。

- ・お年寄りが望む暮らしができるよう、支援の内容を調整する

支援しすぎることによって本人の力や地域の方々との関係を奪ってしまうことのないよう、家族や地域社会との関係まで見据えた関係調整（マネジメント）を行います。

【通いの機能】

在宅で倉し続けることを支える基本となるのが「通いの機能」です。多くの多機能型事業所は、通いの機能をサービス利用の際前提としており、出向く機能や泊まりの機能は、通いサービスの延長線上にあると位置づけられていることが多いのが現状です。

小規模多機能における通いの規模は、一般的に定員10人程度、最大でも15人です。これは、お年寄り同士が関係を構築したり、介護者がお年寄り一人ひとりの個性を見極め、その人にあった支援を提供したりするのに適切な数だからです。

小規模多機能に期待される通いの機能には3つがあります。

1. 柔軟性

固定された時間の枠がなく、本人の状況や介護者の都合に合わせて、サービスの提供時間や方法を変化させることができる。

2. 生活を総合的に支える

丁寧に関わることで、スタッフはお年寄りの変化に早めに気づくことができるようになり、通いを利用していない時間帯についても、家族とのコミュニケーションを図りながら支えることが可能になる。

3. 家族や地域社会との関係づくり

お年寄りの自宅での暮らしと家族の状況、さらには地域社会との関わりを把握した上で、適切なサービス提供を通じて、その関わりを継続、構築、修繕を支援する。

【泊まりの機能】

通いの昨日と同じ場所を使い、同じスタッフが対応するのが、小規模多機能における「泊まりの機能」です。泊まりは通いの延長であると考えられます。

小規模多機能に求められる泊まりの機能の特徴は3つあります。

1. 通いの時間延長という考え方で、通いからそのまま連続的につながったサービスであること。

2. 通いと同じ空間に泊まることができる。なじみの場所で泊まることができるというメリットがある。

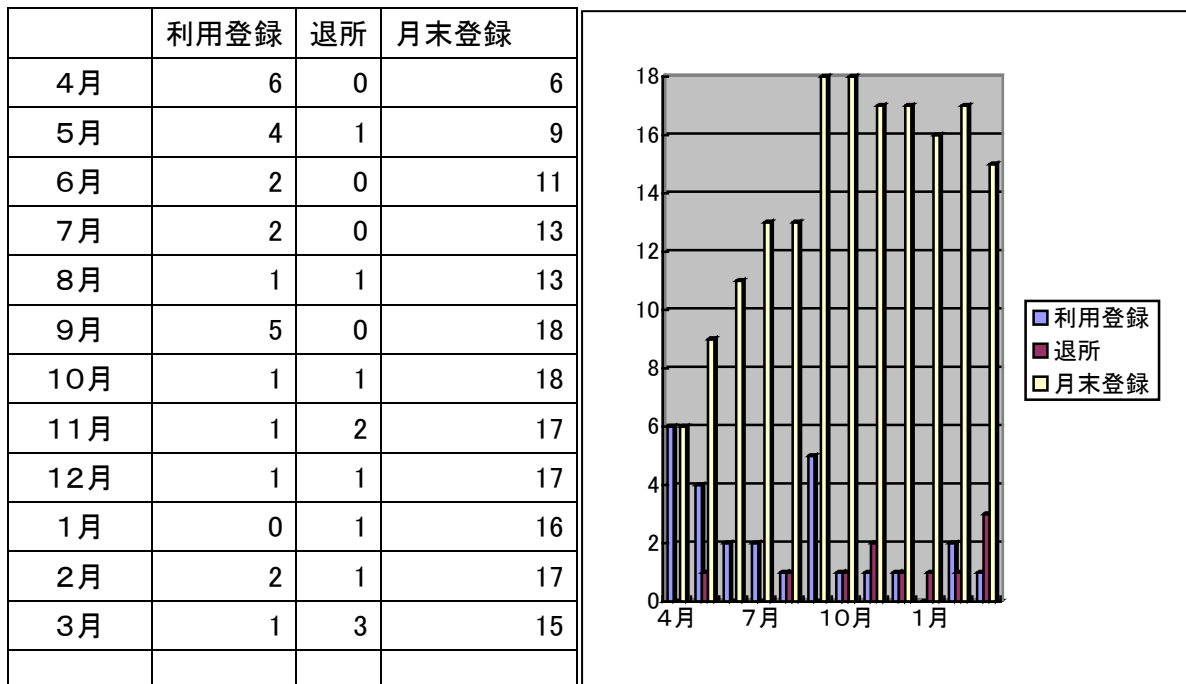
3. 通いと同一スタッフが対応する。

【出向く機能】

通いの機能の延長線上にあるのが「出向く機能」です。出向く機能を単体で利用する従来の訪問介護とは異なり、通いのサービスを利用するだけでは支えきれない時間帯を個別にフォローする役割を持っています。つまり、お年寄りの状態の変化によって、急に通えなくなった際に、スタッフが自宅に赴き安否を確認したり、一緒に時間を過ごすというものです。

安心してサービスを受けてもらうためにも、お年寄り宅に出向くのは、通いや泊まりなどで日々継続的にそのお年寄りと関わっているスタッフが望ましいと考えられる。また、小規模多機能における出向く機能は、お年寄りや家族、介護者のその日の状態によって、サービスの内容が変動する可能性を持っています。出向く機能には、通いでは難しい個別の対応が求められます。

利用状況



支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	退所者介護度	
		2	1	2	1		4月	
			2	1		1	5月	介護2
		1	1				6月	
		2					7月	
				1			8月	介護3
	1	1	2			1	9月	
				1			10月	介護3
			1				11月	介護2 介護5
			1				12月	介護3
							1月	介護5
					2		2月	介護4
				1			3月	介護3 介護3 介護2
	1	6	8	6	3	2	延登録	
			-3	-5	-1	-2		退所者数
	1	6	5	1	2		15名	期末登録者

運営推進会議

平成24年度 第1回 運営推進会議

平成24年6月18日（月）15時より

1. 運営推進会議構成員の紹介（別紙参照）

出席者：利用者、利用者家族、区長、民生委員4名
行政3名、地域包括1名、施設側3名

2. 利用状況（表は割愛）

利用者さんの支援の内容説明→① 送迎時間・帰宅方法について。
② 1日の流れや過ごし方について。
③ 手作りの食事について。

登録利用者の居住地区・介護度の説明

職員配置（利用者さんに対し3：1+1の配置の説明）

3. 情報交換及び意見交換

緊急時の主治医は？→在宅なので、通常はかかりつけ医へ受診となる。

高原荘と同様で新富士病院を協力医療機関にしている。

小規模多機能の役割 →できることはやることが大事

認知症のケアについて →機能をいかす・話を傾聴する

やらせないのではなく →一緒に食事の支度を行う。

買い物に行く。園芸を行う。

強調はしない。本人がやりたいことをやってみよう。

ばら →広見公園までドライブしながら散策。

ふじ →下之坊までドライブしながら散策。

家族代表から

骨折をして入院中に、たかはらの説明会があり、参加してお世話になることを決めた。家にいると人との会話もなく、ぼっとしているので、たかはらの話をして、たくさんの人と話もできるから行ってみたい？と聞いたら行くと本人が決めた。家から近いので歩いて通っている。その時間に義母とも話をする事ができる。家でも会話をすることが増えた。本当にありがたく、感謝している。迎えに来た時に、職員さんが手をつないで玄関まで来てくれることがすごくうれしい。年寄りにはちょっとした言葉かけや手をさしのべてくれることがうれしいですね。

利用者代表から

新聞折りで指先を使うことが、認知症予防になると思ってやっている。職員さんが手を握ってくれるのでとてもうれしい。職員さんの思いが伝わってうれしい。いつまでたっても自分が必要とされていると思うとやっぱりうれしいもの。頼られていることが、うれしいんです。ここの3時のおやつは、手作りで愛情が入っていて、とてもおいしい。口では言えないおいしさがある。なにからなにまで愛情がこもっているを感じる。

4. その他

区長より：7/1（日）お天王さん 8/12（日）八幡さんにて盆踊り その他は上小泉区のホームページに掲載してある。

福祉企画課より：消防法により防災訓練及びスプリンクラーの取り扱い訓練を実施して頂きたい。
 地域包括より：8月の行事予定があればレジュメに掲載して頂きたい。

☆地域の方の協力に感謝している。近隣の金森美容院ではボランティアにて利用者さんの髪をカットして頂いている。

次回開催予定日 平成24年8月27日（月）15時より

平成24年度 第2回 運営推進会議 8月27日（月）15時～

1. 利用状況

平成24年度	登録者数	通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス
6月	11名	235名	90名	41名
		7.8名	2.0名	1.4名
7月	13名	314名	112名	84名
		10.1名	3.6名	2.7名

☆上段：延べ人数 下段：平均人数

1. 利用状況（表は割愛）

利用状況の説明：常時宿泊者は3名

2. 情報交換及び意見交換

小規模多機能の特徴：利用方法の説明

利用料（社福減免等）について

要介護認定等の申請について：主治医の意見書、認定調査等

3. その他

小規模多機能の良さ、地域との関わり：気軽に遊びにきて頂きたい。

8月の行事 夏祭り（高原荘へ）

流しそうめん（縁側にて）

避難訓練（参加9名・3分43秒）マニュアル整備

2次災害（転倒等） 震度5以上は職員集合

9/9（日）区民体育祭に参加予定

グループホーム開設の説明→今年度中に建設予定。

1. 利用状況

平成24年度	登録者数	通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス
8月	13名	305名	98名	94名
		9.8名	3.2名	3.0名
9月	17名	348名	130名	103名
		11.6名	4.3名	3.4名

☆上段：延べ人数 下段：平均人数

運営推進会議の開催にて介護の「みえる化」ができます。

1. 利用状況

9月に登録者が4名増える。

常時宿泊者（入所待ちの方の受け入れを実施）

一時帰宅や外出等で在宅・家族との関わりをもって頂く。

登録定員24名・通い定員12名の利用方法の検討

：人員配置をしっかりと遵守するように。3：1+1

2. 情報交換及び意見交換

訪問サービスとは→訪問介護との違いを説明→従来の時間での対応（20分や60分といった決められた時間）ではなく、必要に応じて必要な時間を臨機応変に決めて、確認や服薬確認を1日に3回程度実施することで、自宅にいても見守ってもらえているという安心感につながる。というように利用者さんや家族の状況によって対応が違うということを伝える。

通いサービスの時間について→デイサービスとの違いを説明→従来の時間指定の送迎ではなく、利用者さんや家族の状況にあわせて送迎時間や利用時間を決める。例えば、早い時間に家族が送ることより、自宅にてひとりである時間をなくして、安心して出勤できる。また、家族の仕事からの帰宅が遅くなるため、お夕飯を食べてお迎えをまっけてもらう。というように様々な要望に対応できるようにしている。

3. その他

9月 区民体育祭に利用者1名・職員1名が参加。班員さんをはじめ、町内会の多数の方々に声をかけて頂き、地域交流ができた。との報告あり。

1. 利用状況

平成24年度	登録者数	通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス
10月	18名	371名	147名	113名
		12.0名	4.7名	3.6名
11月	19名	359名	140名	103名
		12.0名	4.7名	3.4名

☆上段：延べ人数 下段：平均人数

- 11月に変動あり。1名卒業→利用開始時より自立度があがり、趣味のカラオケのできる事業所へ。
- 1名入院→介護療養型医療施設へ。
- 1名入所→特別養護老人施設へ。

情報交換及び意見交換

介護保険料について。

介護事業所の利用料について。

防災訓練について→公営避難地は富士宮東高校。たかはらでの対応→人数把握、家族引取り連絡。

11月の行事 11/7 ハロウィン祭り

12月の行事 12/2 防災訓練。12/9 グランドゴルフ大会参加（地域）

上小泉地区の座談会（地区社協）への参加をしてみてもどうか？

利用状況

平成24年度	登録者数	通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス
12月	18名	359名	126名	113名
		11.6名	4.1名	3.6名
1月	17名	332名	108名	113名
		10.7名	3.5名	3.6名

☆上段：延べ人数 下段：平均人数

1. 利用状況

12月 1名逝去→たかはらにて看取りを実施

1月 1名入院→入院先の病院で逝去

2. 情報交換及び意見交換

運営推進会議について・・・2か月に1度というなかで、毎回多くの皆様にご足労頂きましてありがと

うございます。

グループホームについて・・・4月1日にオープン

インフルエンザについて・・・利用者さん2名発症。2名とも予防接種済み。市役所に届け出を行う。

3. その他

12月の行事	12/23	長谷川真弘氏による仏画パフォーマンス
	12/24	鈴木朗山氏による尺八演奏会
1月の行事	1/1	初詣→上小泉の八幡さんへ。
	1/27	鈴木朗山氏による尺八演奏会
2月の行事	2/3	煎茶会&豆まき

鈴木様より・・・尺八の演奏が皆様に喜んで頂けて光栄です。これからも定期的にやらせて頂きたい。